

（１２）愛南ブロック（愛南町）

～産地づくり～

主力品目「河内晩柑」を中心としたかんきつ産地の維持・発展を目指し、生産基盤や生産体制の強化を図りつつ、多様化する消費者ニーズに対応した加工品の開発や新たなマーケット開拓など出口を見据えた販売戦略を進め、ブランド力向上に取り組みます。また、水田の有効利用と農業所得の向上を目指し、「ブロックリー」による長期安定出荷のできる産地づくりや、地域の特色を活かした高収益野菜の振興と定着に取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

○「河内晩柑」を核とした果樹産地強化と農産加工へのチャレンジ

１ 老木園地の改植や新植による生産基盤強化及び省力化と高品質生産による生産体制強化

【取組】

- ① 南予地域果樹産地協議会南宇和支部が主体となり、果樹経営支援対策事業を活用し、地域に適した柑橘品目を推進（改植）
- ② カットバック処理による大樹の再生試験を継続
- ③ 強樹勢の自根発生樹の自根傷入れ試験を継続
- ④ 縮間伐を実施

【成果】

- ① 果樹経営支援対策事業 申請：６件
《内訳》河内晩柑：４９０本、レモン（アレンユーレカ種）：８３本、愛媛果試第２８号（紅まどな）：１３０本、ボンカン３４本
〔Ｒ５：河内晩柑：４５８本、愛媛果試第２８号：２９２本〕
- ②
 - ・大樹の再生状況：３．１ｍ
〔Ｒ５：２．８ｍ、Ｒ４：０．９ｍ〕
 - ・Ｒ４実施樹において、着果を確認
- ③ Ｒ４、Ｒ５年産において、自根傷入れ樹が自根発生樹に比べて、１４３～１６８％の収量増
- ④ 縮間伐実施園：２か所 ２０ａ
〔Ｒ５：５か所 ５６ａ、Ｒ４：７か所 ８５ａ〕

２ 大久保山ダム等を水源とするかんがい施設の長寿命化対策や老朽化したため池の改修

【取組】

- ・山の神池について、改修を継続（事業完了予定）

【成果】

- ・６年度中に、事業完了（９／５）

３ 御荘平山地区の柑橘生産振興

【取組】

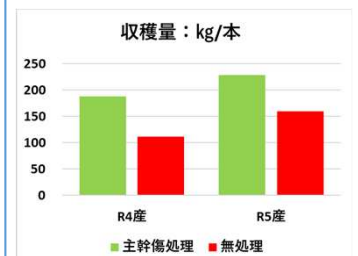
- ① 用水路について、国道南側の用水路工事を実施
- ② 農道について、国道南側の２号農道の用地買収を継続

【成果】

- ① 用水路について、用水路工事を継続中
- ② 農道について、用地買収が進行中



カットバック実施園地



自根傷入れ収量



大久保山ダム取水施設更新整備完了



山の神池整備完了

○「河内晩柑」を核とした果樹産地強化と農産加工へのチャレンジ

4 整備計画のある農産物加工工場への安定的な原料供給から加工品の製造及び生果を含めた国内外への販路開拓

【取組】

- ① 河内晩柑の消費拡大及び認知度向上を目的に、
 - ・愛南町農業支援センターが搾汁
 - ・冷凍果汁について、酒造・飲料メーカー等へ供給
- ② 国内での河内晩柑フェアの実施
- ③ 生果加工メーカーへ、生果の供給
- ④ 欧州輸出事業を実施
- ⑤ マレーシアのクアラルンプールにて、「愛媛・愛南フェア」を開催し、河内晩柑の果汁を提供
- ⑥ 南宇和高等学校農業科で取得している、河内晩柑等のグローバルGAPライセンスの維持

【成果】

- ①
 - ・2種類の缶チューハイに加えて、機能性表示飲料やコンビニ用ヨーグルト飲料が発売
 - ・河内晩柑冷凍果汁の販売量：19.7t
〔R5：14.3t、R4：7.9t〕
 - ・果汁を介して、愛南町産河内晩柑の消費拡大に寄与
- ② 北海道（4/25～）、都内高島屋（4/23～）、東北（5/22～）で、愛南ゴールドフェアを開催し、生果を販売：計20.3t
〔R5：22.3t、R4：13t〕
- ③ 東京の有名かき氷店3社のほか、シロップ等加工原料用で生果を販売：約3t〔R5：3.5t〕
- ④ 食ブランドマーケティング課主導により
 - ・フランス、スイス及びベルギーに対して、愛南町産「misho」のプロモーションを展開《R6輸出実績》
 - ・スイス向けに生果（4t）、果汁（280kg）
 - ・ベルギー向けに生果（640kg）
〔R5：生果1.6t、果汁90kg ※合計〕《R7出荷に向けて準備中》
 - ・スイス向けに生果（16t）
 - ・フランス向けに300mlジュース（10,000本）
- ⑤
 - ・愛南フェアにて、河内晩柑の冷凍果汁（300kg）、温州みかん（250kg）を輸出し、完売
 - ・B to B商流の構築を目指し、商談を継続中
- ⑥
 - ・南宇和高等学校のグローバルGAP認証継続審査中
 - ・「全国高校生農業アクション大賞」準大賞受賞

5 ポスト「甘夏」対策としての「レモン」や県オリジナル品種の導入

【取組】

- ・JA推進品目・果樹経営支援対策事業対象品目である「レモン」「愛媛果試第28号（紅まどんな）」「甘平」「愛媛果試第48号（紅プリンセス）」の植栽を推進

【成果】

- ・「レモン」：211本
〔R5：34本、R4：169本、R3：294本〕
- ・「愛媛果試第28号」：193本
〔R5：292本、R4：411本、R3：496本〕
- ・「甘平」：120本
〔R5：24本、R4：202本、R3：153本〕
- ・「愛媛果試第48号」：116本
〔R5：89本、R4：606本、R3：1,300本〕

の苗木を植栽 ※JAえひめ南 南宇和営農センター管内（R7春苗集計）



輸出果実梱包作業



高島屋販促活動



河内晩柑を使用したかき氷



フランスのボルドーに於いて「misho」をPR



準大賞受賞後の記念撮影



「愛媛果試第28号」改植現場確認

○「ブロッコリー」の産地強化

1 更なる産地拡大に向けた秋から春にかけての作型分散および省力化や軽労働化技術の導入

【取組】

- ① 新規栽培者確保による産地拡大
- ② 適品種選定実証 春作：1品種、秋冬作：2品種
- ③ ブロッコリーの後作となる水稻の品種について、「コシヒカリ」に代わり、倒伏しにくい「にじのきらめき」の導入
- ④ 栽培時における
 - ・ドローンによる防除効果の実証
 - ・現地巡回結果を基とする出荷量予測グラフの作成
 - ・育苗施設における灌水管理指導

【成果】

- ① 新規栽培者：3戸〔R5：3戸〕
- ②
 - ・春作品種Aは、慣行と同等の品質
 - ・秋冬作品種Bは、慣行品種と同等の耐暑性を確認
 - ・秋冬作品種Cは、ブラウンビーズが多発したほか、病害発生が慣行品種より多く見られたため不適
- ③ 「にじのきらめき」栽培の要望調査を行ったところ、栽培希望者が増加：50ha（当初：30ha）《これに伴いブロッコリーの栽培面積も拡大》
- ④
 - ・ドローン防除で防除時間を従来から約27%に短縮するとともに、秋植え冬どり作型については、病虫害を低密度で抑制できたことから、有効性を概ね確認
 - ・出荷量予測については、R7年度に国開発予測出荷量ソフトを使用し、再挑戦
 - ・最終灌水時刻を早める指導により、夏の高温で問題となっていた苗の徒長傾向が改善

2 難防除病害対策および排水対策

【取組】

- ① 根こぶ発生圃場において、土壌分析診断の実施及び巡回指導
- ② 花蕾の病害を抑制すべく防除や排水等に係る個別巡回指導と、講習会による本技術指導

【成果】

- ① 土壌分析結果に基づき、石灰資材施用量を個別に指導することで、根こぶ病の発生を軽減（1戸5ほ場）
- ② 個別巡回指導と、2回の講習会（7月：20戸、11月：13戸）を通じ、花蕾病害の発生を抑制

○水田の有効利用による地域野菜の生産拡大

1 「なす」「しょうが」「さといも」「スイートコーン」や施設野菜の「青ねぎ」の生産振興

【取組】

- ①
 - ・「なす」「さといも」「スイートコーン」で、講習会を開催
 - ・「しょうが」は個別巡回を主体に、栽培技術・病虫害対策を指導
- ② 「青ねぎ」（2法人）については、疫病を中心とした防除指導や、経営相談を実施

【成果】

- ①
 - ・なす 栽培面積：24a〔R5：18a、R4,3：37a〕
 - ・しょうが 栽培面積：250a〔R5：230a、R4：428a、R3：458a〕
 - ・さといも 栽培面積：87a〔R5：62a、R4：123a、R3：87a〕
 - ・スイートコーン 栽培面積：77a〔R5：99a、R4：61a、R3：76a〕
- ②
 - ・夏季における猛暑日数が過去最高となり、疫病を抑えることが難しい中、遮光ネットの更新と育苗ハウスの建設支援を通じ、当病害発生を抑制
 - ・人手不足から外国人技能実習生を新たに3人受け入れ、9人とすることで栽培面積を維持（150a）

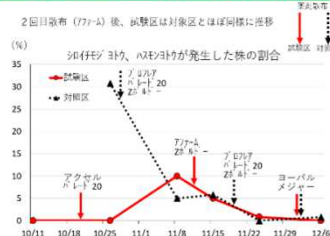


ブロッコリー栽培講習会



ドローンによる農薬散布

実証結果：チョウ目害虫の発生状況①



ドローン防除での有効性確認



ブロッコリー病虫害調査



しょうが栽培ほ場

～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や新規参入企業等の定着支援に取り組みます。優良な農地を維持・活用するため、中心経営体や集落営農組織の育成・法人化を進め、地域農業基盤と地域コミュニティの維持を図ります。また、女性の起業活動や農業経営への参画を支援し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。農業・農村の魅力を活かしたグリーン・ツーリズムやイベント等に取り組み、交流人口の増加と地域の活性化を図ります。

～推進対象や地域づくりの方向～

○新規就農者の確保・定着支援

1 就農希望者の円滑な就農を支援

【取組】

- ① JA・県・町が連携し、就農希望者との面談を行い、研修や給付金等の制度について説明
- ② 南宇和高校生に対し、「探求の時間」授業を利用した、地域農業の魅力発信

【成果】

- ①
 - ・就農相談：1件
〔R5：6件、R4：10件、R3：16件〕
 - ・新規就農準備研修生：3人
〔R5：3人、R4：3人、R3：2人〕
 - ・新規就農者：2人
〔R5：3人、R4：3人、R3：2人〕
- ② 河内晩柑を中心に、農業への感心が向上

2 新規就農者の経営開始後の課題解決および営農定着の支援

【取組】

- ① JA・県・町等の関係機関による個別巡回を行い、営農・経営状況の把握に努め、栽培技術や経営管理等を指導
- ② 地域で安心して暮らせる、儲かる農業を実践する優良事例等の紹介
- ③ 自己研鑽や仲間づくり、情報交換の機会となる、青年農業者組織の活動として、各種研修会を実施

【成果】

- ①
 - ・営農状況現地確認：年2回
〔対象：新規就農者 上半期15人、下半期 13人〕
 - ・就農定着率（就農5年以内）：100%
- ② 南予儲かる農業交流セミナー：2回
- ③ 各種研修会の開催：10回（参加者：延べ69人）

3 JA等による研修生の受入

【取組】

- ①
 - ・担い手育成事業を活用し、河内晩柑の栽培に係る実践形式の研修を実施
 - ・町と連携した研修募集実施
- ②
 - ・就農準備研修生に対し、栽培技術の習得のため、技術指導等を実施
 - ・各研修会・先進地視察等へ参加

【成果】

- ①
 - ・新規研修生：3人（JA研修：1人、農業指導士による研修：2人）
 - ・河内晩柑（2.8ha）、ブロッコリー（5a）で栽培研修
 - ・椎茸の栽培を希望する研修者に対し、対応
 - ・県内就農相談会へ参加
 - ・町助成による簡易トイレ設置
- ②
 - ・研修園内での講習会開催
 - ・JAえひめ南野菜講座、みかん学校講習会へ参加



南宇和高校生が
地域農業体験



新規就農者へ
営農状況の聞き取り



青年農業者園地視察
（儲かる農業セミナー）



JA研修園に設置
された簡易トイレ

○新規就農者の確保・定着支援

4 次世代リーダー育成のための青年農業者組織への加入推進及び組織活動支援

【取組】

- ① 新規就農者を対象に青年農業者組織への加入を推進
- ② かんきつ生産者を対象に研修会や勉強会を開催し、知識・技術の研鑽を促進

【成果】

- ① 新規会員：2人（R7年度会員見込：28人）
- ②

〔	・研修会等の開催：8回（参加者：延べ55人）
	・若い生産者の栽培、防除技術が向上



青年農業者組織による
県外視察研修

○地域を支える多様な担い手の確保・育成

1 補助事業や低利融資の活用、雇用労働力確保対策等を通じた経営体の体質強化

【取組】

- ① 町内の農業雇用実態を踏まえた、労働力確保対策を協議
- ② 認定農業者等を対象とした、研修会の開催及び経営改善に係る個別スキルアップ支援
- ③ 愛南町農業支援センターが中心となり、認定農業者等に制度資金等の相談会を開催

【成果】

- ①

〔	・作業要請件数：4件（登録農家数：2戸）
	・有償ボランティア参加人数：延べ8人
- ②

〔	・研修会：6回
	・個別経営相談：15回
	・簿記記帳研修会：7回（参加者：延べ25人）
- ③ 農業者の資金相談：11回



青年農業者組織が
くくり罌設置研修

2 規模拡大を目指す経営体への農地集積及び法人化の推進

【取組】

- ① 昨年度の重点支援者に対し、今後の支援について意向を確認
- ② 新たな重点支援候補者を選定し、県経営サポートセンター等と支援策について検討

【成果】

- ① 支援要望に対応する専門家を経営サポートセンターに依頼し、経営相談を実施：4回（4経営体）
- ② 資金に係る相談対応を通じ、補助事業等を活用



農業簿記記帳研修会

3 農地を引き受ける集落営農組織の設立支援

【取組】

- ・菊川集落において、担い手確保・農地保全対策に係る事例調査

【成果】

- ・農作業省力化に係る研修会及び事例調査を実施（各1回）

4 多面的機能を有する農地等の保全管理に向けた地域ぐるみで取り組む共同活動の支援

【取組】

- ① 多面的機能支払交付金の事業を活用すべく、活動対象面積維持や、農地や道水路などの保全を推進
- ② 中山間地域等直接支払交付金により、農業生産活動の継続を支援し、耕作放棄地の発生防止や多面的機能の確保を推進

【成果】

- ① 多面的機能支払交付金：386ha（活動組織：13）
- ② 中山間地域等直接支払交付金：335ha（協定数：40）



菊川集落ドローンによる
除草剤散布研修会



菊川集落室内研修会

○地域を支える多様な担い手の確保・育成

5 地域で活躍する女性農業者による組織活動の活性化及び経営ノウハウの習得支援

【取組】

- ・各種研修会や視察研修を実施し、農業経営への参画に向けた意識啓発を推進

【成果】

- ・農村女性組織：1組織
- ・研修会等の開催：5回（参加者：延べ26人）

6 6次産業化やグリーン・ツーリズムに取り組む個人や組織への支援

【取組】

- ① 6次産業化の研修会や視察研修を実施し、加工品の技術や知識に関する研鑽を促進
- ② グリーン・ツーリズムにおける体験活動を通じ、情報発信や消費者との交流を促進

【成果】

- ① 河内晩柑を利用した調理研修を実施：3回（参加者：延べ107人）
- ②

〔	・グリーンツーリズム体験：6回（参加者：延べ228人）	〕
	埼玉県立川口北高校の他、3校の修学旅行における民泊受入れ、	
	石窯ピザ焼き体験、真珠アクセサリ作り体験	

 - ・河内晩柑ジュース提供による消費者交流：1回（参加者：4人）



消費者交流会



小学生へ地域農作物を使用した食農教育活動



石窯ピザ焼き体験

○鳥獣害対策の推進

【取組】

- ① 各種補助事業を活用した鳥獣害防止対策（侵入防止柵の設置）の推進
- ② 銃猟・わな免許取得者の確保
- ③ 有害鳥獣捕獲を推進

【成果】

- ① 防護柵設置：8.5km
〔R5：3.2km、R4：17.8km、R3：12.2km〕
- ②

〔	・銃猟免許新規取得者数：2人	〕
	〔R5：1人、R4：4人、R3：0人〕	
	・わな猟免許新規取得者数：6人	
	〔R5：7人、R4：9人、R3：11人〕	
	・網漁免許新規取得者数：1人	
	・狩猟者登録数 合計：138人	
	〔R5：144人、R4：144人、R3：145人〕	
	うち わな：90人	
	〔R5：91人、R4：93人、R3：90人〕	
	第一種銃猟：42人	
〔R5：47人、R4：46人、R3：49人〕		
第二種銃猟：6人		
〔R5：6人、R4：5人、R3：6人〕		
- ③ 有害鳥獣捕獲頭数：2,649頭
〔R5：2,224頭、R4：2,751頭、R3：2,585頭〕



獣害対策のための防護柵設置